

教育現場におけるスマホ・タブレットの有効活用のために ---ポストスマホ時代も意識しつつ---

情報教育学研究会(IEC)は、20数年前から関西を中心とした大学・短大・高校・企業等の方が毎月集まって、情報活用能力・情報リテラシー・情報活用の基盤能力の育成など、情報教育の課題や問題について、校種や立場の違いを超えて交流し、様々な視点から和気あいあいと討議を行っています。

そして、年に一度、情報教育フォーラムを開催したり、数年に一冊、情報教育に関する本を出版したりして、社会に対して情報教育を推進する活動を行っています。

今回は、教育システム情報学会のご協力を得て、第21回情報教育フォーラムを第39回教育システム情報学会全国大会の末席で開催させて頂くことになりました。テーマは、「教育現場におけるスマホとタブレットの有効活用のために ---ポストスマホ時代も意識しつつ---」です。教育現場では、文部科学省の教育の情報化ビジョンを踏まえて、授業にスマホやタブレットを導入することで、児童・生徒・学生の学習意欲を高め、教師の授業力を向上させることができるのではないかと考える取組みが盛んに行われ、その実践報告がなされています。

フォーラムでは、そこでの実態の本質や現場で教員が抱える問題についてもとりあげ、それらの解へのヒントにつながることを、ポストスマホ時代も意識しつつ、本音で自由に語り合いたいと考えています。

なお、本フォーラムは、本会が出版した「インターネットの光と影」(編著:情報倫理教育研究グループ)の果実の社会還元としても開催させて頂くものです。本書もこの4月にVer. 5が刊行でき、皆様に感謝するものです。

コーディネーター&プレゼンター

情報教育学研究会(IEC)

<http://www.iec-ken.jp/>